

1 単元名 なつがやってきた

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領の以下の内容を受けて設定したものである。

- (5) 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。
- (6) 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

本単元では、児童が校庭や公園、通学路から夏の様子を感じ取り、夏の自然を生かして友達と一緒に活動したり工夫したりできるようにする。梅雨から夏にかけて、雨や水泳など水を身近に感じる機会が増える。その暑さを利用して濡れることを気にせず水と関わることができる活動を設定する。

小単元「こうていでなつをさがそう」「こうえんでなつをさがそう」では、校庭や公園で草花や樹木を観察したり、遊んだりすることで、身近な自然との触れ合いを楽しみ、夏の自然の様子や特徴に気付くことをねらいとする。「みずであそぼう」では、これまでの経験を基に自分たちで身近にある物を使って、遊びに使う道具を作ったり、遊び自体を工夫したりして遊ぶ。このことを繰り返し行うことで、遊びの面白さや自然の不思議さに気付き、友達と一緒に考え、遊びを楽しむことをねらいとする。

「なつのことをつたえよう」では、活動を振り返る中で、一人一人が自分の気付きや工夫を発表する、言語活動を充実させ、友達と関わり合いながら気付きの質を高めるようにする。

(2) 児童の実態 (省略)

(3) 指導観

○興味や工夫への意欲を高める工夫

- ・児童の実態から、見たものに興味や関心が向くため、単元の導入では、実物や教師の作成したモデルを提示し、児童が思いや願いをもち、様々な発想や発見が生まれるようにする。

○思いや願いが連続するような工夫

- ・単元を通して、ワークシートの振り返りを行い、見通しと次時への思いや願いをもてるようにする。また、予想や設計図を作成することにより、自分の思いや願いを明確にしながら学習ができるようにする。

○粘り強く活動に取り組むための工夫

- ・ペットボトルやストローなど身近な材料をたくさん用意し、友達と比べたり繰り返し試したりしながら、試行錯誤できるようにする。共通の目的を実現するためのグループ編成にすることで、見付けた良いことや困ったことを話し合い、それぞれが粘り強く取り組めるようにする。

○活動したことや気付きを表現し、生かす場の工夫

- ・活動した中で得られた思いや気付きを伝え合うことで充実した活動になるようにする。掲示物に気付きをまとめたり、友達との話し合いの後で、もう一度試す時間を確保したりして、気付きを生かす場を意図的につくる。

○発表の意欲を高める工夫

- ・単元の始めに、様々な教科で一緒に学習し、手本を示してくれている2年生に向けて発表することを児童に伝えることで、目的意識や相手意識をもって活動を行わせ、より良い発表につなげる。

3 単元の目標

夏の自然と関わる活動を通して、(活動)身近な自然の違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物をつくったりして、(思考力、判断力、表現力等)身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付くとともに、(知識及び技能)公共物や公共施設を安全に正しく利用しようとしたり、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとしたりすることができるようにする。(学びに向かう力、人間性等)

4 指導と評価の計画 10時間扱い(本時8/10)

時配	学習内容と学習活動	評価規準(観点)【方法】
1	<ul style="list-style-type: none"> ・なつのはらのはらけんきゅうじょを開くことを確認する。 ・校庭で動植物や風、光などを探したり、それらの様子を観察したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・諸感覚を生かしながら、身近な自然との触れ合いを楽しんでいる。(思考・判断・表現) 【観察、振り返りシート】
2	<ul style="list-style-type: none"> ・草花や樹木を利用して遊びを工夫したり、遊びに使う物を工夫してつくったりする。 ・気付いたことを話したり見せたり、観察カードにかいたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動植物や風、光など、校庭の自然の様子に気付いている。(知識・技能) 【観察、観察カード】
3 ・ 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールやマナーを守りながら、公園の遊具や自然物を使ってみんなで遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動植物や風、光など、夏の自然の様子や、公園にはいろいろな人が使う場所であることに気付いている。(知識・技能) 【観察、振り返りシート】
5	<ul style="list-style-type: none"> ・育てた草花や身近な草花、実を使って色水遊び、色染め遊びをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然やものを利用して遊ぶことに気付いている。(知識・技能)【行動】
6	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの水遊びを振り返り、シャボン玉で遊び、つくりたいシャボン玉の設計図をかく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経験を基に、自分の作りたいシャボン玉を思い描いている。(思考・判断・表現)【観察、ワークシート】
7 ・ 8 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・友達遊びや助言を参考にして、シャボン玉吹き具(以下シャボン玉マシンとする)を改良したり、つくり方を変えたりして楽しく遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シャボン玉マシンを今までのつくりと比較したり、友達がこれまでに試した方法を聞いたりしながら遊んでいる。(思考・判断・表現) 【観察、成果物、振り返りシート】
9	<ul style="list-style-type: none"> ・雨上がりの自然との関わりを楽しみ、晴れの日と雨上がりの自然の特徴について、見付けたことを観察カードに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・天候によって、身近な自然の様子に変化することに気付いている。(知識・技能) 【観察、観察カード】
10	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の活動を振り返り、研究してきたことを夏博士になり、2年生に発表する。 ・これからしてみたいことをカードに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の自然を生かして自分たちで遊びを創り出す楽しさを実感し、これからも身近な自然で楽しく遊ぼうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) 【発表、カード】

5 本時の指導（8／10）

(1) 目標

- ・シャボン玉遊びを通して、シャボン玉マシンを今までの作りと比べたり、試したりして、より思いに近い近付いたシャボン玉のでき方に気づき、何度もシャボン玉マシンを作り変えようとしている。

(2) 展開

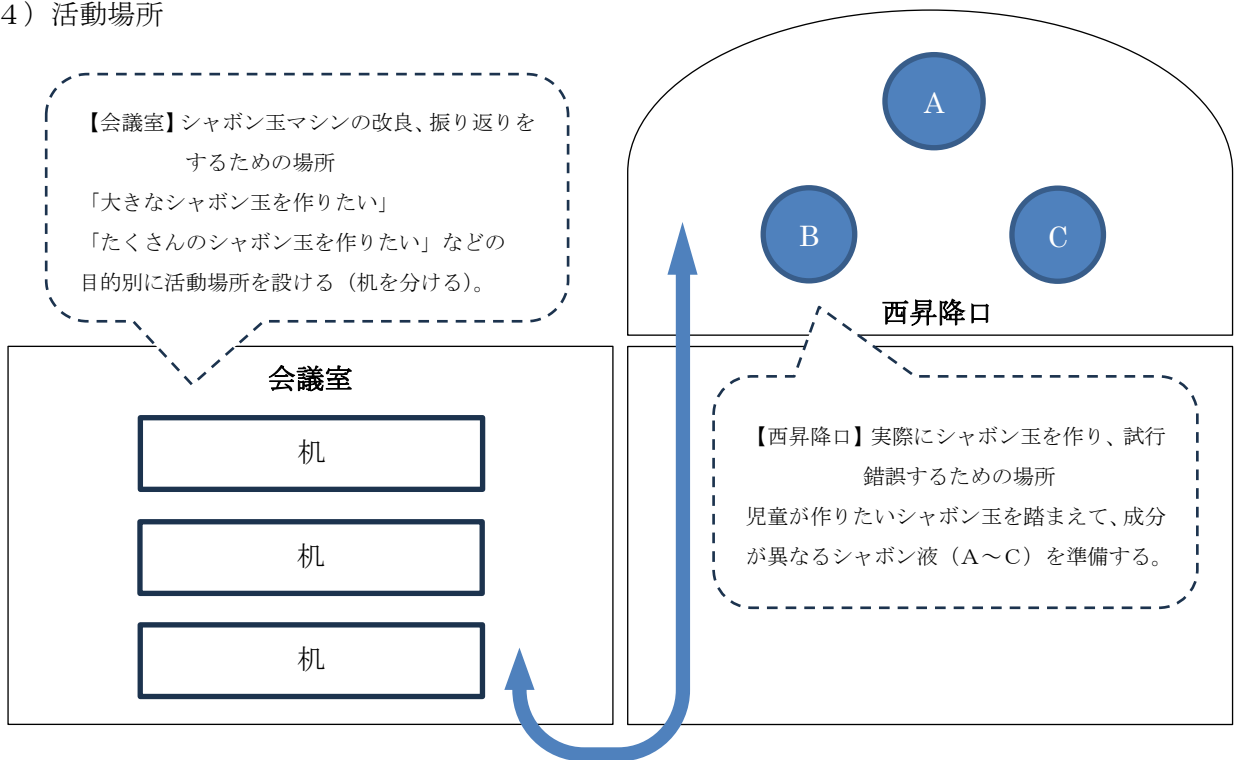
(◎人権教育の配慮事項 ※具体的な支援)

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価（観点）【方法】	資料
2	<p>【見いだす】</p> <p>1 本時の学習課題を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作ったシャボン玉マシンをさらに願いに近づけることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設計図をもとに材料を準備することで、児童の発想が試せるようにしておく。 	設計図
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 60%;"> しゃぼんだまはかせになろう。 </div>			
15	<p>【自分で取り組む】【広げ深める】</p> <p>2 作ったシャボン玉マシンをさらに研究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通の目標をもつ児童でグループになり、どうしたらうまくいくのか共有する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 〈予想される児童の反応〉 「はやく動かしたらたくさんできるかな。」 「大きくしたいのに、すぐにわれちゃう。」 「針金を使うと、丸く大きくできたよ。」 「〇〇さんのマシンは、すごい。」 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ※やることをイラストつきで掲示する。 ※友達と自分のシャボン玉の作り方を見比べるように助言する。 ・設計図のものができたら、レベルアップさせたシャボン玉に挑戦する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ○シャボン玉マシンを今までの作り方と比較したり、友達がこれまでに試した方法を聞いたりしながら遊んでいる。 (思考・判断・表現) 【観察、成果物、振り返りシート】 ・教師が共に活動したり、友達と関わらせたりして、自ら活動できるよう支援する。 </div>	材料
8	<p>3 楽しかったことや工夫したことを発表する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 〈予想される児童の反応〉 「大きくするには、ゆっくりマシンを動かすと良かったよ。」 「たくさん作りたかったから、ネットを使ったけど、うまくいかなかったよ。」 </div>	<p>◎発表の際には、友達の意見を認め、拍手をするように助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試行錯誤している様子を称賛したり、問い返したりして、気づきを促す。 	
10	<p>4 発表を聞いて、試してみたいことでもう一度遊ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※うまくいかない児童には、より思いに近い近付いたシャボン玉ができた児童とコミュニケーションをとるよう助言する。 ※気持ちを切り替えられるよう、試行錯誤の場と振り返りの場を分ける。 	
5	<p>【まとめあげる】</p> <p>5 後片付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次時への助言や意欲となるよう、今日の学習の様子を称賛する。 	はかせ
5	<p>6 振り返りをする。</p>		振り返りシート

(3) 板書計画

なつのわくわく けんきゅうじょ しゃぼんだまはかせになろう。	けんきゅうをすること 【おおきいしゃぼんだま】 ・ゆっくりつくとわれない ・はんがあがびったり 【たくさんのしゃぼんだま】 ・すとろうをたくさんつけた ・いきもたくさんひつよう 【かたちしゃぼんだま】 ・さいしょはできたけど、われた
-----------------------------------	--

(4) 活動場所



活動内容に応じて移動

シャボン液 A 【大きいシャボン玉ができる液】 ・ 食器用洗剤 (100g) ・ 水 (1L) ・ 砂糖 (300g)	シャボン液 B 【たくさんのシャボン玉ができる液】 ・ 市販のシャボン液	シャボン液 C 【割れにくいシャボン液】 ・ 食器用洗剤 (100g) ・ 水 (1L) ・ 砂糖 (100g) ・ 洗濯のり (200g)
---	--	---